

第2次国東市総合計画後期基本計画（令和2年度事業）の進捗状況、 検証・評価について

◎後期基本計画に基づく「主要な事業」（141事業）ごとに、「施策事業評価シート」を作成し、令和2年度における事業の進捗状況、検証・評価を実施。

1. 行政による評価

- 施策・事業担当課による自己評価
- 自己評価内容についてヒアリング

2. 客観指標評価

5分野38施策における「主要な事業」において、設定している目標数値について評価を実施

3. 総合評価

上記を受けて、総合計画庁内会議、総合計画審議会において総合評価を実施後、検証・評価内容については、HP公表予定。

<行政評価（進捗状況評価）の考え方について>

- ①主要な事業ごとに指標を設定しているため、目標値に対する実績を評価（一部設定していない事業有）
- ②令和2年度においても、コロナ禍により当初予定していた通りの事業ができなかった場合は、代替方法により、事業実施をし、施策目的に合致した成果が出たかを評価。

事業進捗状況の評価

A	順調に推移（目標に達している）
B	一定の進捗がある（目標達成に向けて進歩している）
C	進捗は遅れている（目標達成が遅れる可能性がある）
D	進捗は大幅に遅れている（目標達成が難しい可能性がある）

事業の妥当性

I	効果的な事業構成である（現状のまま継続）
II	概ね効果的な構成である（一部見直し等の余地がある）
III	あまり効果的な事業構成ではない（見直し等の余地が大きい）
IV	事業構成に問題がある（抜本的な見直し等が必要である）